

# 地図を読む過程の認知処理

Lloyd, R. : Spatial cognition: Geographic environments.(1997)より

文脈や知識に基づいて、  
選択的に地図要素を注視する

例えば、



「自分の位置」と



「目的位置」

が分かったら、二つのマークを結ぶ道のりの間の  
パスやランドマークを注視すればよい。



選択的注意

(地図の背景知識で検索)

トップダウン処理



トップダウン処理では、地図の文脈や知識に基づいて、注視すべき地図の要素を選択します。  
これらの処理を繰り返しながら、必要な情報を抽出し、「認知地図」を描いていきます。

# 地理空間の認知プロセス

本吉勇：視覚認知と画像統計量(2014)より



地図・GIS  
の獲得

地図の構成要素の知覚  
(ボトムアップ処理)

地図情報の選択・抽出  
(トップダウン処理)

認知地図  
の獲得



実際に歩かないと認知地図は獲得できない？



以上のことを踏まえると、地図を手にとって認知地図を獲得するまでのプロセスはこのような流れになると考えられます。

しかし、地図を読むだけで本当に「認知地図」を獲得できるのでしょうか。